

# 畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
佐々木 琢 磨
印刷所
(株)東北プリント



第11回全国モーモーママちゃんの集い in しまね  
(令和5年3月9日～10日 島根県松江市玉湯町)

## もくじ

### CONTENTS

令和5年度畜産施策の基本方針と主要施策…………… 2-4	畜産経営技術高度化促進事業に係る経営者セミナー (肉用牛)の開催(動画公開)について…………… 10
令和5年度畜産・酪農経営安定対策及び 畜産物価格について…………… 4-5	価格安定対策事業の発動状況について…………… 10
宮城県獣医師修学資金給付者募集…………… 6	人の動き…………… 11-12
全国モーモーママちゃんの集い in しまね が開催されました =全国から牛飼いの女性が島根県松江市に大集合=…………… 7	
畜試便り…………… 8	
衛生便り…………… 9	
農業大学校生の抱負…………… 9	



みやぎの  
畜産情報  
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



## 令和5年度 畜産施策の基本方針と主要施策

宮城県農政部畜産課  
宮城県農政部家畜防疫対策室

### I 基本方針

本県の畜産は、新・宮城の将来ビジョンで掲げる「富県宮城の躍進」の達成に向けた重要な基幹産業と位置づけられ、令和3年の畜産の農業産出額は約753億円と県農業産出額全体の約4割を占めるなど、安全で良質な畜産物を消費者に安定的に供給する畜産主産県としての地位を確立しています。

平成23年3月に発生した東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の影響については、12年を経過した現在でも生産現場に影響を与えていますが、一時保管されていた農林業系汚染廃棄物の焼却処理、すき込み処理が進められています。

一方、輸入畜産物の増加、人口減少及び高齢化に伴う担い手の減少、輸入飼料価格の高騰、豚熱ワクチンの継続接種や全国的な高病原性鳥インフルエンザの発生を受けての特定家畜伝染病に対する防疫強化に加え、大雨、大雪や地震等の自然災害による被害、さらには、新型コロナウイルスの感染拡大が畜産物の消費をはじめ流通・生産にも影響を及ぼしており、本県の畜産を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。

このため、これらの状況に柔軟に対応するとともに、令和5年度は資材高騰の影響を緩和できる経営体質への転換を図るため、耕畜連携による飼料の自給率向上や有機質肥料の地域利用拡大などを進め、3年目を迎える「新・宮城の将来ビジョン」、第3期「食と農の県民条例基本計画」の実現に向け、市町村・JA・畜産関係団体との連携を図りながら、次の重点項目に取り組みます。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 復興完了に向けたサポート   | 3 国際競争に打ち勝つ儲ける畜産経営の実現 |
| 2 安全・安心な畜産物の生産支援 | 4 畜産基盤整備による農村の振興      |

### II 主要施策

#### 1 復興完了に向けたサポート

復興完了に向けたサポートを推進するため、汚染稲わら等の適正な保管・処理を進めます。また、放射性物質検査を通じて畜産物の安全性を確保するとともに、牛肉の円滑な出荷体制を確立します。

##### ○放射性物質影響調査事業

粗飼料や原乳等の放射性物質濃度を測定するとともに、放射能の影響を低減するための飼料作物の栽培管理等の指導を行います。

##### ○給与自粛牧草等処理円滑化事業

放射性物質に汚染された稲わらについて、最終処分されるまでの間、適切な一時管理を実施するため、一時管理施設の保守点検や施設補修等の維持管理を実施します。

##### ○肉用牛出荷円滑化推進事業

県産牛肉の安全性を確保するため、県内の食肉市場に出荷される検査対象牛について放射性物質検査を実施します。

#### 2 安全・安心な畜産物の生産支援

豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止を図るため、各種伝染性疾患の検査の実施や飼養衛生管理基準の遵守を指導し、健康な家畜の生産と安全・安心な畜産物の安定供給を推進します。また、畜産物のGAP（農業生産工程管理）の取組や認証取得の支援により、県産畜産物に対する付加価値向上を図ります。

##### ○家畜伝染病予防事業【家畜防疫対策室】

豚熱、高病原性鳥インフルエンザなど牛・豚・鶏・馬・みつばち等の各種伝染性疾患の検査と関連する防疫対策を行い、監視伝染病の発生予防とまん延防止を図ります。

○豚熱等発生予防対策事業【家畜防疫対策室】

養豚場での豚熱発生予防を目的とした豚熱ワクチンの離乳豚への継続接種、成豚の強化接種および免疫の獲得状況を把握するための免疫付与状況確認検査に加え、野生イノシシの検査体制の強化と経口ワクチンの散布を実施します。

○GAP認証取得推進事業（畜産物）

日本版畜産GAPの普及推進を図るため、制度の周知とともに指導員等の養成による推進指導体制の構築を進めます。

### 3 国際競争に打ち勝つ儲ける畜産経営の実現

儲ける畜産経営を実現するため、実需者を意識した畜産物の生産体制や「仙台牛」に代表される「食材王国みやぎ」の畜産物ブランドの推進、家畜改良による生産性向上や畜産新技術の開発・普及を推進し、新たな国際競争に打ち勝つ畜産経営の体質強化と経営安定を図ります。特に、地域が抱える諸課題の解決と収益性向上を図るため、畜産クラスター事業を積極的に活用し、収益性の高い儲ける畜産経営の実現を支援します。

#### (1) 儲ける肉用牛経営の実現

現場後代検定で脂肪交雑が日本一となった「茂福久」号に続く優秀な種雄牛造成、産肉能力や繁殖能力に優れた高能力雌牛群の整備、受精卵移植技術の活用、肉用子牛価格の安定、畜産の経営改善と技術向上を図るとともに、全共宮城大会における成果を活かした高品質な肉用牛生産、収益性の高い肉用牛経営の実現を図ります。

○第13回北海道全共出品対策事業

令和9年度に開催される全共北海道大会へ向け、継続的な出品対策を講じることにより、仙台牛の生産基盤強化とブランド力向上を図ります。

○アグリテック活用推進事業（仙台牛食味向上、改良加速化）

国が進めるおいしさ指標に即応するため、「仙台牛」の科学分析データの蓄積を進めるとともに、遺伝子検査による遺伝子評価と受精卵移植技術を活用した和牛の改良速度の向上を図ります。

○肉用牛集団育種推進事業

繁殖農家、肥育農家の協力を得て優れた種雄牛を造成するとともに、能力の高い繁殖雌牛群の整備により、高品質のブランド牛肉「仙台牛」の生産基盤を強化します。

#### (2) 活力ある畜産の振興

乳用牛の生産能力を高めるための牛群検定の普及・指導強化や、ゆとりある酪農経営実現のための酪農ヘルパー事業への支援を行います。また、県独自の優良種豚の供給、輸入飼料高騰対策として自給飼料の生産拡大や家畜生産性向上等の取組により、畜産生産基盤の活性化を推進します。

○乳用牛群検定指導強化事業

乳用牛群検定指導員を対象とした研修会の開催や効果的な検定実施体制の整備及び受精卵関連技術を活用した高能力乳用牛の生産を推進します。

○優良種豚選抜推進事業

系統豚「しもふりレッド」、「ミヤギノL2」の種豚や家畜人工授精用精液の供給を通じて、銘柄豚の生産力強化を図ります。

○酪農ヘルパー事業運営強化対策事業

酪農経営における「働き方改革」を推進するため、酪農ヘルパー事業によるゆとりある持続性の高い酪農経営の実現を図ります。

○自給飼料生産総合推進事業

輸入飼料価格高騰への対応として、稲ホールクroppサイレージや飼料用米のほか、水田における子実用トウモロコシの生産・利用促進、食品残さなど未利用資源の飼料化（エコフィード）の拡大と飼料作物の優良品種の普及拡大を推進します。

○多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業

持続的な地産地消を推進するため、意欲ある中小規模の採卵養鶏、養豚生産者が取り組むICT導入による労働生産性向上、食品産業との連携強化を支援します。

### (3) 畜産新技術の開発・普及

畜産試験場における試験研究体制を整備し、新たな畜産技術の開発と普及を推進することにより、国内外の産地との競争力強化や自給飼料確保による生産性向上を進めます。

#### ○県単独試験研究費・受託試験研究費

本県の特徴を活かした畜産物の生産性向上と高品質化のため、牛の受精卵移植技術の活用や育種素材の遺伝子解析技術の開発に取り組みます。また、豪雨等の気象災害発生時における牧草収量の低下を防ぐため、新たな栽培体系の実証に取り組みます。さらに、国の試験研究機関や大学との共同研究等により、家畜の生産性向上、家畜ふん尿の効率的な処理、飼料作物の増収等の新技術の研究開発を推進します。

## 4 畜産基盤整備による農村の振興

生産基盤や畜産関連施設の整備を行い、地域の核となる畜産経営体を育成し、活力ある農村の再生を図ります。

#### ○資源リサイクル畜産環境整備事業

広域たい肥センターのうち、老朽化の進んだ施設や機械等の機能保全と長寿命化を図ります。

(企画管理班 門脇 宏)

## 令和5年度畜産・酪農経営安定対策及び畜産物価格について

宮城県農政部畜産課

農林水産省は令和4年12月に、令和5年度の畜産・酪農経営安定対策及び畜産物価格を決定しました。

### 1 酪農関係対策

「加工原料乳生産者補給金制度」については、生産者補給金が生乳1kg当たり8円69銭、集送乳調整金が生乳1kg当たり2円65銭となります。生産者補給金と集送乳調整金の合計は生乳1kg当たり11円34銭となり、昨年度に比べ49銭の引き上げとなります。

なお、「加工原料乳生産者経営安定対策事業」も継続し実施されます。この対策は、加工原料乳（脱脂粉乳・バター等向け、チーズ向け及び生クリーム等液状乳製品向けの生乳）の取引価格が、補てん基準価格である全国の直近3年間の平均取引価格を下回った場合に、生産者と国による積立金から、その差額の8割が補てん金として交付されます。

### 2 肉用牛関係対策

「肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）」は、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合（月毎）、その差額の9割が交付金として交付されます。なお、交付金のうち4分の1に相当する額は、生産者の積立金から支出されます。

また、「肉用子牛生産者補給金制度」も継続し実施されます。この制度は、肉用子牛（黒毛和種、褐毛和種、その他の肉専用種、乳用種、交雑種）の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合（四半期毎）、生産者に対してその差額が生産者補給金として交付され、さらに合理化目標価格を下回った場合は、合理化目標価格との差額の9割が補給金として交付されます。

### 3 養豚関係対策

「肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）」は、肉豚1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合（四半期毎）、その差額の9割が交付金として交付されます。なお、交付金のうち4分の1に相当する額は、生産者の積立金から支出されます。

### 4 採卵養鶏関係対策

「鶏卵価格差補てん事業」は、鶏卵の標準取引価格（月毎）が補てん基準価格を下回った場合、生産者と国による積立金からその差額の9割（補てん基準価格と安定基準価格の差額の9割を上限とする）が補てんされます。なお、後述の「成鶏更新・空舎延長事業」への協力金の拠出が補てんの要件となります。

「成鶏更新・空舎延長事業」では、鶏卵の標準取引価格（日毎）が安定基準価格を下回った場合、その下回る日の30日（10万羽未満飼養生産者は40日）前から、安定基準価格を上回る日の前日まで（ただし、安定基準価格を上回る日の前日までに、食鳥処理場に予約されている場合は、安定基準価格を上回った日から起算して30日（10万羽未満飼養生産者は40日）後まで）に、更新のために成鶏を出荷し、その後60日以上の上の空舎期間を設ける取組を行った場合に、表1のとおり奨励金が交付されます。さらに、食鳥処理場への奨励金として1羽あたり47円が交付されます。

表1. 奨励金単価

空舎期間	10万羽以上飼養生産者	10万羽未満飼養生産者
60日以上 90日未満	210円/羽	310円/羽
90日以上120日未満	420円/羽	620円/羽
120日以上150日未満	630円/羽	930円/羽

### 5 令和5年度畜産物価格

(1) 加工原料乳生産者補給金及び集送乳調整金の単価並びに総交付対象数量

区 分	令和4年度	令和5年度
総交付対象数量	345万トン	330万トン
生産者補給金の単価	8.26円/kg	8.69円/kg
集送乳調整金の単価	2.59円/kg	2.65円/kg

(2) 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

(単位：円/頭)

区 分		令和4年度	令和5年度
保証基準 価 格	黒 毛 和 種	541,000	556,000
	褐 毛 和 種	498,000	507,000
	その他の肉専用種	320,000	325,000
	乳 用 種	164,000	164,000
	交 雑 種	274,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	黒 毛 和 種	429,000	439,000
	褐 毛 和 種	395,000	400,000
	その他の肉専用種	253,000	256,000
	乳 用 種	110,000	110,000
	交 雑 種	216,000	216,000

(3) 鶏卵の補てん基準価格及び安定基準価格

	令和4年度	令和5年度
補てん基準価格	181円/kg	209円/kg
安定基準価格	159円/kg	190円/kg

(企画管理班 佐藤 綾香)

## 宮城県獣医師修学資金給付者募集

宮城県農政部家畜防疫対策室

## 【修学資金の内容】

- 1 給付対象者：獣医学を履修する課程に在学する5年生で、卒業後宮城県職員（農政部：家畜保健衛生所、畜産試験場等）に獣医師として勤務しようとする方
- 2 募集人員：令和4年度分1名（5年生のみ対象）
- 3 給付額：国公立大学生 10万円/月、私立大学生 18万円/月  
給付期間：大学5年生の6月～6年生の3月までの22ヶ月間
- 4 提出書類：①申請書 ②学長の推薦書 ③健康診断書 ④戸籍謄本  
⑤学業成績証明書 ⑥保護者等の収入を証明する書類  
(①、②の書類は、(一社)宮城県畜産協会のホームページよりダウンロードできます。)
- 5 提出期間：令和5年4月1日(土)から7月21日(金)まで(当日消印有効)
- 6 選考日時・場所：(予定)令和5年8月4日(金)宮城県庁(詳細はHP等)
- 7 選考方法：書類審査、小論文及び面接により給付者を決定し通知します。
- 8 返還免除：県職員採用試験に合格し、大学卒業、獣医師資格を取得し、宮城県職員（農政部：家畜保健衛生所、畜産試験場等）に獣医師として、一定期間(※)以上勤務した場合、給付金全額の返還が免除されます。  
※ 給付額が10万円/月：給付期間の2分の3以上。18万円/月：給付期間の3分の5以上。
- 9 返還措置：給付期間中に退学した場合など、給付金は規程に基づき、返還措置が発生する場合があります。

※希望者は先ず、お電話で内容をご確認ください。

## 【採用・勤務条件等に関する問い合わせ先】

宮城県農政部家畜防疫対策室衛生安全班

〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1

TEL：022-211-2854 FAX：022-211-2859

HP (URL)：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/boueki/juishishugakushikinboshu.html

## 【修学資金に関する問い合わせ先・申請書類提出先】

一般社団法人宮城県畜産協会 総務課

〒983-0832 仙台市宮城野区安養寺3-11-24

TEL：022-298-8471 FAX：022-293-2311

HP (URL)：http://miyagi.lin.gr.jp/vetshuugakusikin/index(vet).htm



(衛生安全班 石橋 拓英)

## 全国モーモーマー母ちゃんの集い in しまね が開催されました ＝全国から牛飼いの女性が島根県松江市に大集合＝

一般社団法人宮城県畜産協会

4年ぶりに開催された大会は、令和5年3月9日、10日にかけて、神々が集う出雲の隣市の松江市において、11回目の「全国モーモーマー母ちゃんの集い in しまね」が開催され、19道府県約150名の母ちゃん達が集いました。

宮城県からも10名の母ちゃんが、仙台空港から出雲縁結び空港へ出陣です。でも、飛行機は1日1便でお昼頃が空の上となるため、空港内で搭乗手続き案内のアナウンスを聞きながらも、待機場所で弁当を頬張る母ちゃん達。飛行機に乗ったのは一番最後でした。

会場に入る前に、宮城県のユニフォーム（蛍光のオレンジ色のジャンパーと、牛政宗のイラストが入りマスクカバー）を装着。いざ会場へと入れば、どこの道府県のユニフォームよりも、会場スタッフよりも宮城県の色が一番目立っていました。

体験発表は2つの発表があり、「夢を追いかけて」と題して島根県大田市 住田富美子氏より、乳牛350頭を飼養し、海外研修生を受入れ、地元高校等の視察や牛乳消費拡大イベントの参加や6次産業の取組等の活動内容が紹介されました。次に「未来を創る子どもたちとともに」と題して島根県津和野町 京村まゆみ氏より和牛一貫、NPO法人を立上げ、牧場と森を活用した保育園を運営や町議会議員（2期）を務めた等の多方面の活躍が紹介されました。

基調講演は、「WCS用稲生産と耕畜連携について」と題して島根県松江市 ライスフィールド有限会社 代表取締役 吉岡雅裕氏より、主食用米やWCS、酒米、もち米等の栽培、堆肥散布やWCSの供給などの業務を行う会社と紹介があり、平成14年設立から現在まで従業員の誰一人退職することがない会社との事でした。

交流会では、第1部の1分間スピーチで話しきれなかった母ちゃん達の不完全燃焼にアルコールという燃料が投下されパワーが全開！宮城県の母ちゃん達による1分間スピーチのリレーも開催。その後、事務局のサプライズで、誕生日が開催日の週だった母ちゃん達によるじゃんけん大会が開催されました。そこにも気づけば、宮城県の母ちゃんも登場。じゃんけんが強く、WBCの日本のように優勝していました。

交流会終了後も、各部屋などで交流会も開催されたようで、同じホテルに宿泊されていたお客さんもびっくりするぐらいのパワーで真夜中まで交流をしていたようです。翌日の閉会式終了後に、島根県庁より島根の牛乳PRとして全員に地元の牛乳と集合写真撮影がありました。

島根県の移動中には、「父ちゃんの世話を子供に託したけど」と心配する声や、家での晩御飯の内容の写真をSNSで見ても確かめてみたり、田んぼ作業をしている人を見て宮城へ帰ったら...等いろいろと思う姿も見られました。

2年後は、鹿児島県での開催となります。この記事を読んでいる宮城県の牛飼いの母ちゃん、2年後と一緒に鹿児島県で全国の牛飼いの母ちゃんと交流しませんか？日頃の思いなどを共感してくれたり、占ってくれたりいろんな楽しい母ちゃんが大集合しており、情報満載な母ちゃんもいます。希望される方は、畜産協会までご連絡ください。

また、県内のモーモーマー母ちゃんの集いを令和5年度には開催したいと思っております。鹿児島県まで行くのは遠いと感じるその母ちゃん、まずは宮城県内での大会で腕試しとして参加しませんか？記載できない内容を報告したいと思いますので、県内の牛飼いの母ちゃん達のご参加をお待ちしております。



出雲空港の玄関



会場の様子



配布された農協牛乳

(経営支援課 庄司 清文)

## 〈畜試便り〉

## 宮城県養豚研究会 令和4年度第2回研究集会 盛会裡に終了

宮城県畜産試験場

令和5年2月24日、宮城県養豚研究会（事務局：宮城県畜産試験場）主催による令和4年度第2回研究集会を、大崎市図書館にて開催しました。会場では21名、オンラインでは35名が参加し、盛会裡に終了いたしました。

はじめに、公益社団法人日本食肉格付協会の田口悟東北支所長から、今年1月より施行された豚枝肉取引規格の改正について情報提供いただいた後、「豚舎の老朽化対策について考える」をテーマに、株式会社マックプランニング代表取締役の熊谷隆氏と、宮城県農政部畜産課草地飼料班の芳賀慎太郎氏からご講演いただきました。

まず、熊谷氏から豚舎建て替え時のコストを削減するための工夫や、豚舎修繕の具体的な手法について解説いただきました。老朽化した豚舎は「建て替え」もしくは「修繕」を検討することになるが、両者は必要となるコストや、投資後の効果の面で一長一短の関係にあり、今後も長く経営を継続するならば、「建て替え」の方が飼養環境の改善や耐用年数の延長が可能な点で望ましいとの見解をいただきました。「建て替え」、「修繕」のどちらにおいても、費用対効果を計算し、コストよりも改善される収益が大きいと予測される場合、実行した方がよいとのお話でした。「建て替え」では、豚舎建築業者への一括発注に比べ、農場主が施主となって部分発注する方がコストを抑えられる一方、業者との交渉経験が必要になる点や、部材の選択、資材の購入ルートによってはかえって経費がかかる等の難点があることもお話いただきました。「修繕」では、屋根材や壁材、電線の配線、給餌ライン、換気扇等の11の具体例を示していただきました。代替となる手法や資材を用いてコストを抑えた方法を提示いただいたほか、既存の設備を改良し、作業負担の軽減や豚舎環境の改善に寄与した事例をご紹介いただきました。

次に、芳賀氏から、令和4年4月より施行された「畜舎建築特例法」の概要についてご説明いただきました。本法は、畜産業の振興を図るため、畜舎等の建築及び利用に関する建築基準法の特例を定めたものであり、建築基準法で定められる基準から一部緩和される一方、畜舎の利用方法等に関する「利用基準」が定められているとのお話でした。本法では、建築基準法では畜舎にとって過剰と考えられる基準について、畜舎の特性に合わせて緩和されており、畜舎の高さ、面積、基礎の深さ、防火基準、構造計算等について、基準の緩和や規定を適用しない等の措置がなされているとのことでした。また、新たに定められた畜舎に滞在できる人数や時間などの「利用基準」についても併せて解説いただきました。さらに、部材の強度や基礎の根入れ深さに関わる基準が緩和されたことで、木材や鉄骨の使用量、基礎の建築工事費の削減につながり、建築工事費の2～9%が削減できると示していただきました。

総合討論では、養豚経営に直結するテーマであったため、飼養者から多数の質問が挙がりました。参加者からは、昨今の情勢下で入手が困難な国産インバーターの代替となる、中国製インバーターの耐久性について質問があり、熊谷氏からは、中国製インバーターは耐久性が懸念されるものの、国産インバーターが入手可能となるまで応急処置的に用いるものと考えて導入してはどうか、との回答をいただきました。

なお、次回は令和5年8月の開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



(種豚家きん部 庄司 宙希)



## 〈衛生便り〉

補助事業等における飼養衛生管理基準の遵守要件について  
(飼養衛生管理基準の遵守状況確認書の交付について)

東部地方振興事務所畜産振興部

令和4年度より畜産振興に係る補助事業、交付金及び制度資金の一部では、申請時に家畜保健衛生所が交付する飼養衛生管理基準遵守確認書が必要となりました。

また、確認書の発行には農場・埋却候補地の確認や改善方針の提出が必要になる場合がありますので、余裕を持って最寄りの家畜保健衛生所・畜産振興部に申請願います。

## ○導入の背景

国では、衛生管理状況に危機感を持っており、昨年度以降、全国的に流行している高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生要因として、飼養衛生管理基準の不遵守があり、疾病の発生及びまん延防止を図って行くには、より一層の遵守推進を図っていく必要があり、補助事業等を活用して新規・規模拡大をしようとする場合、埋却地の確保や飼養衛生管理基準の遵守状況の確認が必要であるとの認識です。

また、家畜伝染病予防法により、豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等により殺処分された家畜の所有者に対して手当金が交付されますが、不遵守が確認された発生農場には手当金を減額して交付しており、補助事業等の活用の有無に係わらず、日頃より、飼養衛生管理基準の遵守により発生防止に努める事が求められています。

## ■手当金が減額となった不徹底事項

- ・衛生管理区域専用の衣服・靴の着用等による交差汚染防止
- ・沢水を使用する際の消毒
- ・畜舎に出入りする際の手指消毒(手袋交換)
- ・家畜の畜舎間移動時の通路の消毒
- ・畜舎に重機や一輪車等を持ち込む際の消毒
- ・通報の遅延 (農水省HPより抜粋)

## ○対象家畜

当面、養豚農場と養鶏農場が対象。

(畜産振興班 柴崎 卓也)

## 〈農業大学校生の抱負〉

## 「目標(ゆめ)に向かって」

宮城県農業大学校畜産学部 2学年 齋藤 大輝



私の目標は「酪農家」です。こう決意したのは高校一年の冬です。我が家では、酪農を営んでおり、令和5年1月現在で経産牛23頭・育成牛3頭を飼育しています。

私は、幼いころから、牛と密接に関わる生活を送っていましたが、牛舎に行くことは少なく「酪農家」とは全く対極となる「自動車関係の仕事」を目標としていました。高校は農業高校として有名な「加美農業高校」に入学しましたが、「農業科」ではなく「農業機械科」を選んだので、畜産・農業を学ぶためではなく自動車を学ぶために入ったといっても過言ではありませんでした。

そんな私が「酪農家」を目指すきっかけとなったのは、高校時代の意見文大会への出場と、牛部への入部です。1年の春に校内意見文大会のクラス代表に選ばれました。その際に家族から「家を継いでみないか」と言われたのが最初のきっかけです。その後、牛部に入部し、周りのメンバーが一生懸命に作業する姿に感化され、私自身も「本気で酪農に向き合おう」そう決意しました。

現在は、宮城県農業大学校畜産学部にて在籍しており、酪農の技術と家畜の様々な知識を学び、資格取得に勤しんでいます。

卒業後は学びのため、ほかの牧場視察も並行しながら父の牧場を継承し、経営者として活動していきたいです。経営規模に関しては、経産牛50頭・育成牛常時15頭の家族経営で、牛の健康管理に手が届く理想的な中規模経営を目指したいです。そして最終的には、牛糞堆肥を作り水田農家などに販売する循環型農業や酪農教育ファームを通じた子供たちへ牛のふれあい体験を提供するなどの地域貢献も実現させていきたいです。

## 畜産経営技術高度化促進事業に係る経営者セミナー（肉用牛） の開催（動画公開）について

一般社団法人宮城県畜産協会

標記経営者セミナー（肉用牛）は、例年2月下旬に大崎市にて開催しておりましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、開催を中止し、下記のとおり動画の公開を行うことといたしました。

畜産情勢は、飼料価格高騰等、まだまだ先の見通せない状況ではございますが、この動画が肉用牛経営の一助になれば幸いに存じますので、是非ご視聴ください。

### 記

#### 1 動画の内容

演題：「子牛の健康、農場経営に損害が大きい牛コクシジウム病への対策  
～牛用バイコックスの効果的な使い方～」

講師：エランコジャパン株式会社 ファームアニマル事業部 根布 貴則 先生

動画再生時間：約20分

#### 2 動画の公開期間

令和5年3月28日（火）～令和5年5月31日（水）

#### 3 動画の公開先

URL : <https://elancoanimalhealth.wistia.com/medias/2ex19fd2v>

QRコード：



- ※1 宮城県畜産協会のホームページからのご視聴いただけます。
- ※2 動画のスライド印刷は、宮城県畜産協会のホームページから印刷できます。
- ※3 スマートフォン等からのご視聴になる場合は、別途通信料が掛かりますので、Wi-Fi環境等の使用をお勧めいたします。

(経営支援課 伊藤 利樹)

## 価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

### ◎肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の交付金単価

販売月	肉専用種（宮城県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和4年10月（概算払）	(31,736.0円)	(4,468.7円)	(37,063.1円)
精算払	37,686.6円	10,291.5円	43,010.1円
11月（概算払）	(11,492.3円)	—	(32,222.0円)
精算払	16,604.1円	1,765.8円	36,964.8円
12月 精算払	29,180.7円	—	49,166.1円
令和5年1月（概算払）	(53,024.6円)	(8,301.8円)	(38,878.4円)

### ◎肉用子牛生産者補給金（子牛補給金）の交付金単価 令和4年度第3四半期（10～12月）

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
補給金単価	—	—	—	36,600円	—

### ◎肉豚経営安定交付金（豚マルキン）の交付金単価 令和4年度第1～3四半期 交付なし

〈人の動き〉

宮城県

退職(令和5年3月31日付)

農政部長  
農政部長兼副部長(技術担当)  
東部家畜保健衛生所兼東部地方振興事務所登米地域事務所畜産振興部長  
東部地方振興事務所畜産振興部長兼東部家畜保健衛生所次長  
畜産試験場長  
畜産試験場主任研究員  
畜産試験場主任研究員  
大河原家畜保健衛生所  
北部家畜保健衛生所  
東部家畜保健衛生所  
畜産試験場

宮川 耕一  
伊藤 紳  
日野 正浩  
天野 祐敏  
氏家 哲  
千葉 和義  
佐藤 秀俊  
西條 世志子  
鹿沼 憲一  
岡 希  
高木 理宏

令和5年4月1日付

新	旧	氏名
農政部長	農政部副部長(技術担当)	橋本 和博
農政部長兼副部長(技術担当)	農政部副部長(技術担当)	金須 豊洋
農政部副部長(技術担当)	農政部技術参事兼家畜防疫対策室長	齋藤 裕
畜産課長	東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部長兼登米農業改良普及センター所長	鈴木 秀彦
畜産課技術副参事兼総括課長補佐兼環境生活部放射性物質汚染廃棄物対策室	東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部総括技術次長兼登米農業改良普及センター	武田 正寛
畜産課技術補佐(班長)	仙台地方振興事務所地方振興部技術次長兼企画員(班長)	柴田 知也
畜産課技術補佐(班長)	北部家畜保健衛生所技術次長(班長)兼北部地方振興事務所地方振興部企画員	平子 智子
畜産課主幹(副班長)	畜産課主任主査(副班長)	岩本 広子
畜産課技術主査	大河原地方振興事務所地方振興部技術主査	佐藤 文恵
畜産課	北部家畜保健衛生所	日野 さやか
畜産課主査	環境生活部消費生活・文化課主査	松戸 信明
畜産課主査	畜産課	塚口 紗季
畜産課	大河原地方振興事務所農業振興部	今田 彩音
畜産課	畜産試験場	田中孝太郎
家畜防疫対策室長	仙台家畜保健衛生所長兼仙台地方振興事務所畜産振興部長	西 清志
家畜防疫対策室技術補佐(班長)	仙台家畜保健衛生所技術次長(班長)	竹田 百合子
大河原家畜保健衛生所長兼大河原地方振興事務所畜産振興部長	大河原家畜保健衛生所技術副参事兼総括次長	小寺 文
大河原家畜保健衛生所技術副参事兼総括次長	気仙沼地方振興事務所農業振興部総括次長兼気仙沼農業改良普及センター総括次長	安達 芳則
大河原家畜保健衛生所技術主幹	仙台家畜保健衛生所技術主任主査(副班長)	高野 泰司
大河原家畜保健衛生所	(新規採用)	井上 長青
仙台家畜保健衛生所長兼仙台地方振興事務所畜産振興部長	北部家畜保健衛生所長兼北部地方振興事務所畜産振興部長	早坂 駿哉
仙台家畜保健衛生所技術副参事兼総括次長	北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部総括次長	山田 治
仙台家畜保健衛生所技術次長(班長)	北部家畜保健衛生所技術次長(班長)	真鍋 智
仙台家畜保健衛生所技術主査	畜産課技術主査(副班長)	小林 真言
仙台家畜保健衛生所技術主任主査	畜産試験場副主任研究員	三浦 公子
仙台家畜保健衛生所	大河原家畜保健衛生所	岸田 竜馬
北部家畜保健衛生所長兼北部地方振興事務所畜産振興部長	仙台家畜保健衛生所技術副参事兼総括次長	高橋 幸治
北部家畜保健衛生所総括技術次長(監視伝染病対策担当)	環境生活部環境対策課技術補佐(班長)	二瓶 友美
北部家畜保健衛生所技術副参事兼総括次長	北部家畜保健衛生所総括次長	國井 洋
北部家畜保健衛生所技術主任主査(副班長)兼北部地方振興事務所地方振興部企画員	畜産試験場上席主任研究員	菅原 賢一
北部家畜保健衛生所技術主幹(班長)	畜産試験場主任研究員兼食肉衛生検査所	高森 広典
北部家畜保健衛生所	(新規採用)	秋山 桂花
北部家畜保健衛生所技術主査	畜産課技術主査(副班長)	四ノ宮 徹
北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部長兼北部家畜保健衛生所次長	畜産課技術副参事兼総括課長補佐兼環境生活部放射性物質汚染廃棄物対策室	鈴木 徳彦
北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部総括次長	家畜防疫対策室技術補佐(班長)	石橋 拓英
東部家畜保健衛生所長兼東部地方振興事務所登米地域事務所畜産振興部長	大河原家畜保健衛生所長兼大河原地方振興事務所畜産振興部長	清水 ゆう子
東部家畜保健衛生所技術副参事兼総括次長	東部家畜保健衛生所総括次長	山田 智子
東部家畜保健衛生所技術主任主査(副班長)	東部家畜保健衛生所技術主査(副班長)	高橋 巧
東部地方振興事務所畜産振興部長兼東部家畜保健衛生所次長	大河原地方振興事務所農業振興部技術副参事兼総括技術次長兼大河原農業改良普及センター	半沢 康弘
東部地方振興事務所畜産振興部技術副参事兼総括次長	東部地方振興事務所畜産振興部総括次長	大越 啓司
東部地方振興事務所畜産振興部技術次長(班長)兼地方振興部企画員	気仙沼地方振興事務所農業振興部技術次長(副班長)	熊谷 弘明
畜産試験場長兼酪農肉牛部長	畜産試験場酪農肉牛部長	菊地 武
畜産試験場副参事兼総括次長兼次長(班長)兼農業大学校総括次長	公立学校副参事兼事務室長	西塚 健哉
畜産試験場総括研究員	北部地方振興事務所農業振興部総括技術次長兼大崎農業改良普及センター	石黒 裕敏
畜産試験場副主任研究員兼食肉衛生検査所	大河原家畜保健衛生所技術主任主査(副班長)	曾地 雄一郎
畜産試験場主幹(副班長)兼農業大学校	畜産試験場主任主査(副班長)兼農業大学校	伊藤 淳一
畜産試験場主幹兼農業大学校	東部保健福祉事務所登米地域事務所主幹(副班長)	齋藤 麻里
畜産試験場研究員	食肉衛生検査所技術主査	福田 純子
畜産試験場研究員	畜産課技術主査(副班長)	杉本 達郎
畜産試験場	北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部	小宮 亮太
畜産試験場技師(農場業務主任)	畜産試験場	岩浅 忍
農業大学校長	畜産課長	鈴木 英作
農政部農業政策室長	北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部長兼北部家畜保健衛生所次長	北興 真一
仙台保健福祉事務所副参事兼総括次長兼地域保健福祉部総括次長	畜産試験場副参事兼総括次長兼次長(班長)兼農業大学校総括次長	千葉 茂
東部保健福祉事務所環境衛生部技術副参事兼総括次長	北部家畜保健衛生所技術副参事兼総括技術次長(監視伝染病対策担当)	阿部 公一
気仙沼地方振興事務所農業振興部総括技術次長兼気仙沼農業改良普及センター	畜産課技術補佐(班長)	門脇 宏
気仙沼地方振興事務所農業振興部技術次長(班長)兼地方振興部企画員	東部地方振興事務所畜産振興部技術次長(班長)兼地方振興部企画員	清水 俊郎
農業大学校畜産学部長	畜産課技術補佐(班長)	遠藤 潤
食肉衛生検査所技術主任主査	仙台家畜保健衛生所技術主任主査(副班長)	結城 瑞希
大河原地方振興事務所農業振興部技術主任主査	仙台家畜保健衛生所技術主任主査(副班長)	熊田 修之
北部地方振興事務所地方振興部企画員	畜産試験場主任主査兼農業大学校	大柳 麻衣子
保健福祉部社会福祉課主査	畜産課	菅原 慧

宮城県農業共済組合 (NOSAI宮城)

定年退職 (令和5年3月31日付) 本所第二事業部長
中央家畜診療センター庶務課長
退職 (令和5年3月31日付) 県北家畜診療センター所長兼庶務課長
県北家畜診療センター診療課係長

高橋 孝幸
鈴木 龍一
村山 勇雄
梁川 和代

令和5年4月1日付

Table with 3 columns: 新 (New), 旧 (Old), 氏名 (Name). Lists personnel changes for various departments including 本所第二事業部長, 県南家畜診療センター, 中央家畜診療センター, and 県北家畜診療センター.

公益社団法人 みやぎ農業振興公社

退職 (令和5年3月31日付) 畜産振興部長兼白石牧場坪沼農場 (業務長)
白石牧場技術主査
岩出山牧場技術主査
岩出山牧場技師

平田 利幸
平間 利明
遠藤 康彦
奥山 智晴

令和5年4月1日付

Table with 3 columns: 新 (New), 旧 (Old), 氏名 (Name). Lists personnel changes for 常務理事, 参与, 畜産振興部長, 畜産振興部次長, 畜産振興部畜産振興班主事, 畜産振興部白石牧場技師, 畜産振興部白石牧場技師, 畜産振興部白石牧場坪沼農場主任主査, 畜産振興部岩出山牧場技術主査, 畜産振興部岩出山牧場技術主査, 総務部副参事, and 原種苗部参事.

一般社団法人 宮城県畜産協会

令和5年4月1日付

Table with 3 columns: 新 (New), 旧 (Old), 氏名 (Name). Lists personnel changes for 総務課 課長, 総務課 (経理総括担当), 価格安定課 技師, 家畜改良課 技師, and 総務課 主事.